

京都教育大学特別教育研究経費
教育支援ネットワーク開発事業
平成 18～19 年度 報告書

応援します、学校の先生！
京都教育大学教育支援ネットワーク

CONTENTS //

■教育支援ネットワークとは

今日にも使える授業の補助教材です。

■WEB教材「授業のたね」

先生の日頃のお悩み、ご相談ください。

■先生相談窓口「スクール110番」

NEWS & TOPICS

<http://kyoushien.kyokyo-u.ac.jp>

教育支援ネットワーク設置 WG

教育支援ネットワークとは

京都教育大学がインターネットを通じて全国の学校現場の先生方を支援するシステムです。平成 18～19 年度特別教育研究経費で開発し平成 18 年度 11 月より運用しています。

昨今、学校現場での教員による教科指導や新しい諸問題への対応が困難な状況が目立ってきていると言われます。本来現場の教員は日々、授業への創意工夫のため教材開発に時間をかけなければならないのですが、実際は様々な学校・学級運営や生徒指導で時間がとられ、なかなか教材開発に時間を割けないのが実情です。また教育現場でおきている問題も複雑で多様化しており、なかなか教員個人で適切な対応策がとりにくい現状です。

本事業はそういう学校現場への教育支援を行うとともに、本学の教育研究の一層の向上に資することを目的としています。

本学は教育現場で役立つ教員の養成を担っていますが、実際の教育現場の生の声を授業や実習に取り入れることで、学生の教育現場への実践力をより一層高め、教員としての即戦力を養うことができます。

そこで、本学がネットワークをはりめぐらせ、さまざまな諸問題を集約し、本学教員がそれらの問題と取組み、現場の教育問題の解決にあたり、さらに現場の教材開発の一助を担うことで、本学の学生に対する実地教育などの授業へ生かすことができ、よりよい教員育成へとつながります。

また、ネットワークで配信することにより、全国レベルで情報提供が可能となり、全国の教育現場の活性化につながります。

本事業は、教材開発とその提供をする「授業のたね」と、現場の様々な声に答える「スクール 110 番」の 2 つのシステムからなっています。この 2 年間で両システムを本学 HP 上に構築し、運用を開始しました。学校現場への教育支援を行うとともに本学の教員養成に役立てることをめざしています。



申請の概要

平成 18 及び 19 年度特別研究教育経費申請書

事業名 教育支援ネットワーク開発事業

教育現場への貢献、教育相談、教材開発、授業への教材提供、全国展開

【概要】情報処理センターのネットワークの整備を推進するとともに、教育現場からのさまざまな問題に対処するため、教育相談を受け付け、本学の教員が回答をし、ホームページの FAQ のページに書き込み、全国からアクセス可能に配信する。また、必要な教材については、本学でのオリジナル教材を開発し、学校現場へ配信可能とする。

事業実施主体 京都教育大学

事業計画期間 平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月（2 ヶ年）

平成 18 年度概算要求額 46,300 千円（うち学内負担額 600 千円）

平成 19 年度事業実施経費 9,700 千円（うち学内負担額 1,200 千円）

実施計画

1. 事業の必要性

【目的・目標】

- (1) 昨今、学校現場での教員の指導力不足、新しい諸問題への対応能力が不足しているため、学校、教育委員会ではその対応に苦慮しているのが現状である。このため、本事業の目的は、学校、教育委員会の援助を行うとともに、本学の教育研究の一層の向上に資することとする。
- (2) 本学は教育現場で役立つ教員の養成を担っているため、実際の教育現場の生の声を授業や教育実習に取り入れることで、学生の教育現場への実践力をより高め、教員としての即戦力を養うことを目的としている。
- (3) また、現場の教員は日々、授業への創意工夫のため、教材開発に時間をかけるべきであるが、実際は、PTA、保護者、生徒との関わりで時間がとられ、なかなか教材開発に時間を割けないのが実状である。
- (4) そこで、本学がネットワークをはりめぐらせ、さまざまな諸問題を集約し、本学教員がその問題と取組み、現場の教育問題の解決にあたり、さらに現場の教材開発の一助を担うことで、学校教育への支援を行う。また本学への学生に対する実地教育などの授業へ生かすことができ、よりよい教員育成へとつながることが期待される。

【必要性・緊急性】

最近での学校問題は特に、いじめ、ひきこもり、学級崩壊、学力低下などと多岐にわたり、学校現場だけでの対応では解決しない問題が山積みとなっている。

また、生徒一人一人への指導など、現場の教員の授業以外での対応が多く求められて、それに多くの時間を割いており、ネットワークづくりなどできていない状況である。そのため、本学が教育委員会、学校現場など現場の問題を密接に情報交換することにより、本学の教育研究、実践的な教員育成の向上に資すると同時に、さらに、社会的要請に応えるものである。

【独創性・新規性等】

学校現場での問題解決としては、府教育委員会、市教育委員会での単位で取り上げられ、その現場との連携で対応されているが、教員養成大学がつくるネットワークを利用することにより、他の教育現場での問題解決の情報提供が行え、よりよい解決策などの対応が可能となる。また、教材開発にあつては、その教材を提供することにより、現場での授業の活性化、生徒への学習意欲向上に貢献するものである。

また、ネットワークで配信することにより、全国レベルで情報提供が可能となり、全国の教育現場の活性化につながる。

【中期目標・中期計画との関連性】

本学では「授業形態や授業内容・方法の改善を促進する。特に附属学校及び公立学校等と連携した実践的な授業や研究指導を拡充する。」「大学と附属学校、教育委員会等との幅広い研究面での連携・協力を推進する。」と中期計画で示しており、本事業は社会的要請に対応した教育現場の問題解決、授業改善を推進できる教員の養成を目的としており、中期目標・計画に合致したものである。

2. 事業の取組内容

(1) 設備等の概要

学内キャンパスに、動画配信に十分なギガビットネットワークを整備するとともに、各教員研究室にあるパソコンに WEB カメラを装備し、教育現場に役立つ教育相談や教材支援について WEB を介して外部に向けて双方向発信できる音声映像通信を含めた教育支援システムを構築する。具体的には

①スクール110番

ホームページにより教育現場からのさまざまな質問や相談を受け付け、それに対し迅速に電子メール、公開掲示板、動画配信システムなど依頼者の要望に応じた形で本学担当教員から回答する。その際相談依頼者は特別な設備を必要とせず、通常のインターネット環境で回答を受けることができる。

②授業の種

各学校種、各教科に応じて、教師が毎日の授業で役に立つ動画を含めた京都教育大学オリジナル開発教材を HP 上で公開し提供する。特に大学で作成する教材と言う点で、通常のインターネット教材と比較して、教師の授業のヒントになる教材「授業の種」という点に特徴を持たせる。

(2) 設置(使用)場所等

学内キャンパス、情報処理センター、各教員研究室

(3) 年次計画

平成18年度

①設備の整備、教材開発

②教育委員会等への活用の啓発

③質問項目の整理、集計

平成19年度

①前年度の集計結果を生かして、本学の授業に反映させる。

②システムの運用

(4) 主な用途

WEBを利用した教育支援システムなので全国誰でも利用できる。

3. 事業の実現に向けた実施体制等

【実施体制】

全学を挙げた取り組みとして位置づけ法人室（教学支援室）のもとにWGを設置し、大学教員のみならず附属学校園の教員も利用者、開発協力者の両方の立場から協力支援する体制をつくる。またこれまでの本学の様々な取り組みの中で培われた京都府・市教育委員会との強い連携を本事業でも活用する。

【工夫改善の状況】

本事業の立ち上げにより、本学と京都府、京都市の連携を十分活用し、かつ本学の力点を置いている実地教育の面を十分生かすことができる。また、運用にあたっての人件費については、本学が自助努力により一部負担とする。

4. 事業達成による波及効果等（学問的効果、社会的効果、改善効果等）

【社会的効果】

今日学校教師は社会の急速な進歩、多様化の中で日々苦勞している。その中で相談したり解決したりできる場が学校内の教師集団という非常に小さな社会に限られ、教科や学年ごとの課題は数人の教師で日々解決し対処していかなければならないのが現実である。本システムは日々苦悩している全国の教師にインターネットを介して直接京都教育大学が手をさしのべるものでシステム構築後、このネットワークの広がりを通じて学校現場には大きな教育支援ができると期待される。

【改善効果】

本事業により、教育現場の問題解決につながり、現場の活性化、本学の教員養成の実地教育プログラムへの反映が行われ、教員の育成充実を図ることができる。また、本学の実地教育の研究課題の材料に十分活用することができるため、今後の教員養成授業のカリキュラム開発に役立つこととなる。

システムの構築

(1) ギガビットネットワークシステム

学内キャンパスに、動画配信に十分なギガビットネットワークを整備した。具体的には藤森キャンパス内の各研究棟各階及び附属学校主要地点の高速スイッチを全てギガビットスイッチに更新した。これにより研究棟各階まで100MB転送が1000MB転送にアップした。図1及び2に大学及び附属学校校内キャンパスネットワーク概要図を示す。図中の網掛けの機器が今回更新した分である。

京都教育大学学内ネットワーク概要図

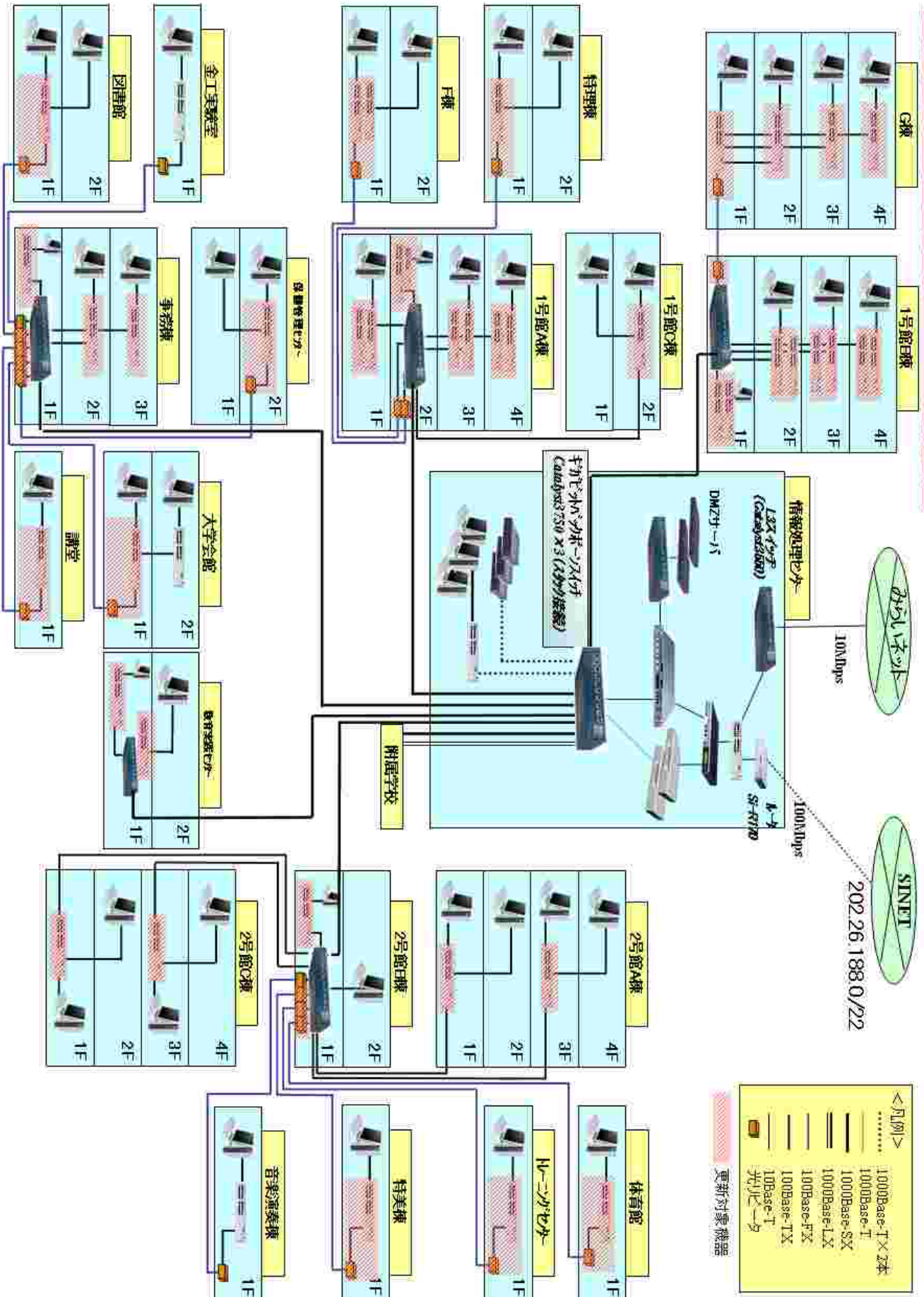


図1 藤森キャンパスギガネットワーク

京都教育大学学内ネットワーク概要図

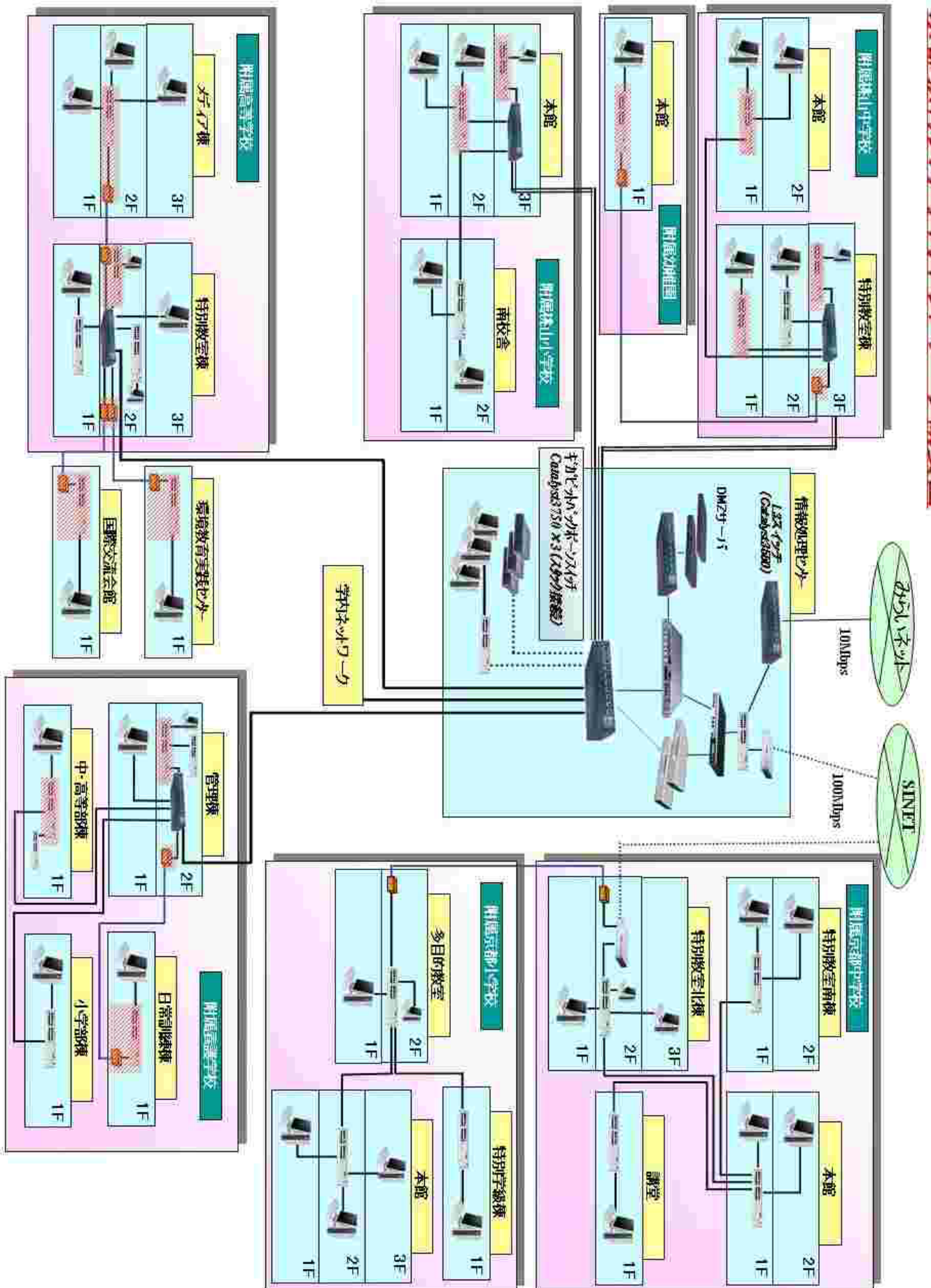
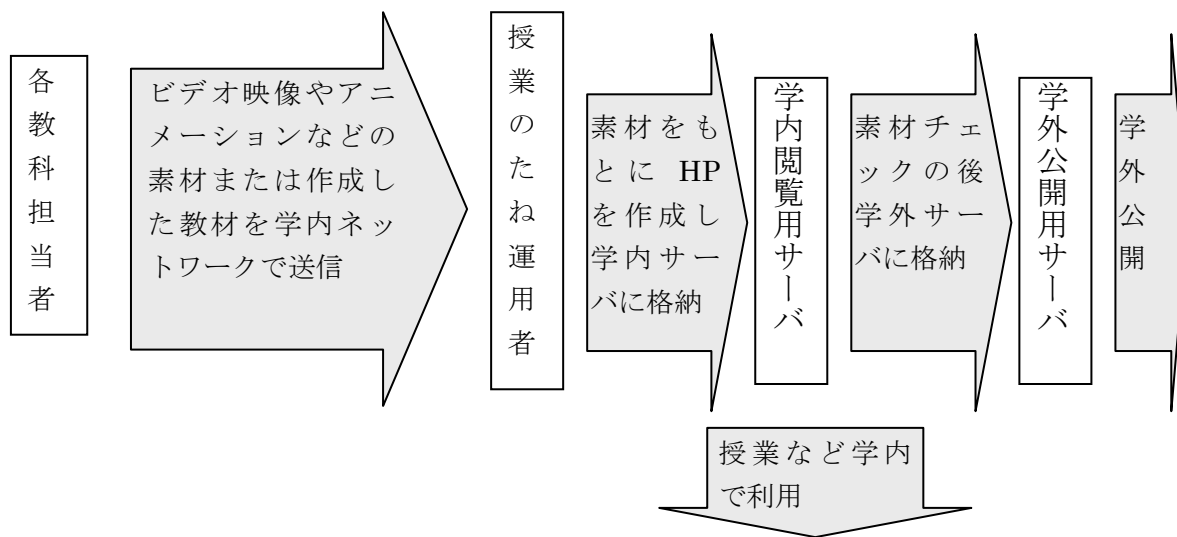


図2 附属学校校内ギガネットワーク

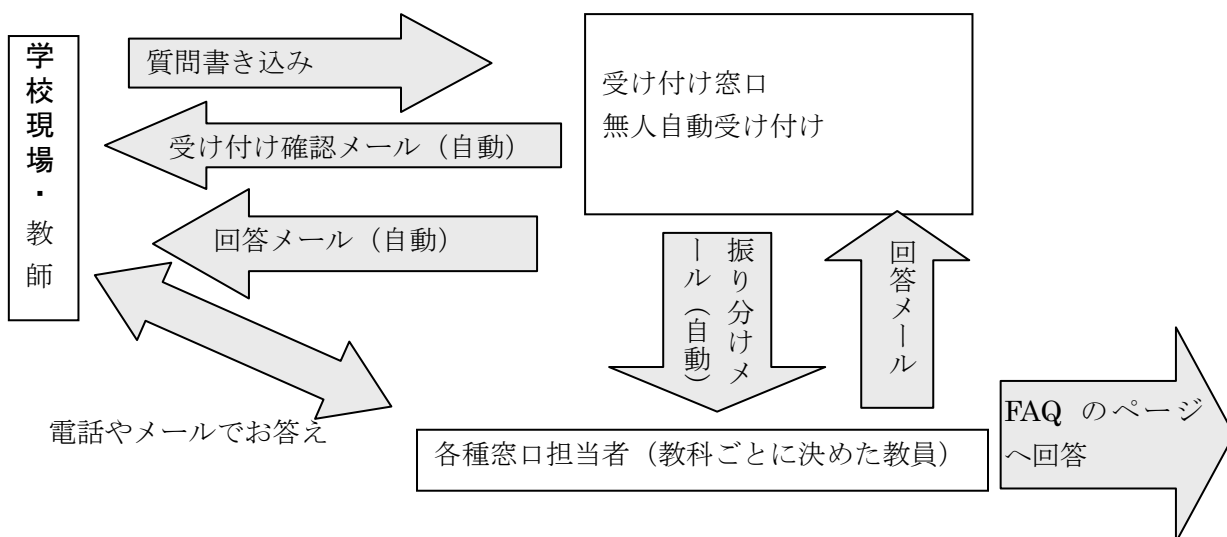
(2) 授業のたねシステム

教材HPを学内外に発信提供するため、学内用サーバ及び学外用WEBサーバを設置した。教材提供までの流れは以下のようなものである。授業のたね運用者は先生方からいただいた素材や教材を完成させ随時学内サーバにアップし、学内提供する。また同時に学外公開準備期間として公開の適否、著作権等について吟味チェックする。問題がなければ毎月1回程度学外サーバへアップし学外公開となる。学外サーバへのアップ時にアクセス集計用スクリプトを埋め込み、毎月アクセス集計を行っている。



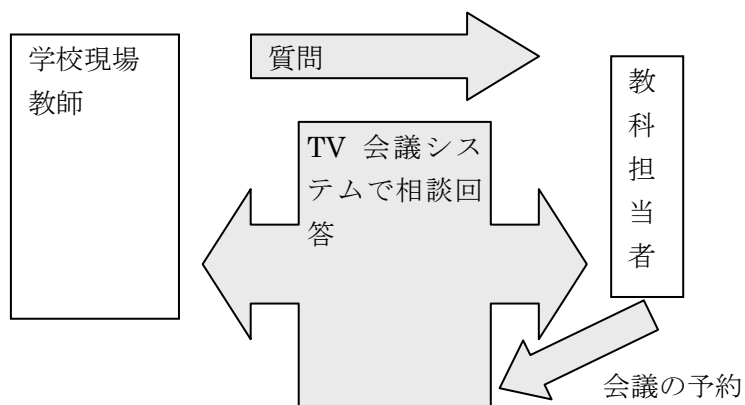
(3) スクール110番システム

スクール110番サーバを設置し学校現場から質問・相談をHP上で受け付けるシステムを構築した。質問者は回答方法を電子メール・公開FAQのHP・電話から選択できる。受け付けた質問は内容ごとに決められた担当者（大学教員）へ自動転送される。同時に質問者へは受け付け確認メールを送信する。回答者は回答方法に従って公開可の場合は公開FAQHPで、公開不可の場合は電子メールで質問者へ送信される。電話の場合は別途調整後回答を行う。



(4) TV 会議でお答えシステム

動画による相談質問に答えるシステムとして富士通社製 JooInMeeting による TV 会議システムを構築した。このシステムは WEB カメラさえあればインターネットに接続したどんなパソコンでも利用可能であることが特徴である。



WEB 教材「授業のたね」

～明日の授業作りのヒントにお役立て下さい～

各教科に応じた、動画を含めた京都教育大学オリジナル開発教材を HP 上で公開し、毎日の学校現場で活用していただくシステムです。各教科ごとに設けられた 14 の教科のページから入ります。



なお本教材については教育目的に限って、利用に関しては非営利であること、授業内の使用に限ること、転用はしないことを厳守していただき自由にダウンロードできます。

これまでに作成された教材

(教科がまたがる教材はどちらのページからもアクセスできます)

国語のページ

1. 写真 HP 教材 附属教育実践総合センター浅井先生作成 「世界の写真集」
2. 国語ビデオ教材 ためになる 10 分講座国文学科森山先生 「かんじのかきじゅん」
3. 国語ビデオ教材 ためになる 10 分講座国文学科森山先生 「のぼすおとのかきかた」
4. 国語ビデオ教材 ためになる 10 分講座国文学科森山先生 「イントネーション」
5. 教育心理 HP 教材 教育学科矢野先生作成「ものと人の認識：子どもが主人公の物語」

社会のページ

1. 社会ビデオ教材 ためになる 10 分講座社会科学科和田萃先生 「深草と聖徳太子」
2. 写真 HP 教材 附属教育実践総合センター浅井先生作成「世界の写真集」
3. 社会 HP 教材 社会科学科武島先生の HP 「小中学校の授業に生かしてほしい歴史関係の本」
4. 社会ビデオ教材 ためになる 10 分講座名誉教授和田萃先生 「飛鳥の歩き方」
5. 社会 HP 教材 社会科学科山下宏文先生 「小学校社会科国土単元における森林資源の写真教材」

算数・数学のページ

1. 算数 HP 教材 数学科守屋先生の HP 「立体の角度の学習」
2. 算数 HP 教材 数学科守屋先生の HP 「刺しゅう画を作ろう」
3. 数学 HP 教材 丹後副学長の HP 「数学教育の教材」
4. 教育心理 HP 教材 教育学科矢野先生作成「ものと人の認識：ものの量の認識」
5. 算数 HP 教材 数学科守屋先生作成「カバリエリ流の等積変形」

理科のページ

1. 理科（物理分野）HP 教材 理学科沖花先生の HP 「物理のトリビア」
2. 理科（物理分野）HP 教材 理学科沖花先生の HP 「よくわかる解説」
3. 理科（物理分野）ビデオ教材 理学科沖花先生の HP 「ふしぎビデオ」
4. 理科（化学分野）プレゼンテーション教材 「アンモニアの噴水」実験
5. 理科（生物分野）HP&ビデオ教材 理学科松良先生作成 「アリジゴクの世界」
6. 理科（物理分野）ビデオ教材 附属教育実践総合センター岡本先生作成 「ヒートパイプのふしぎ」
7. 理科（化学分野）HP 教材 理学科芝原先生の HP 「マイクロスケール実験の部屋」
8. 教育心理 HP 教材 教育学科矢野先生作成 「ものと人の認識：ものの量の認識」
9. 理科（化学分野）HP 教材 「マイクロスケール実験」
10. 理科（生物分野）HP 教材 「調べてみよう！木の名前」
11. 写真 HP 教材 「身近な植物の写真と解説 京都教育大学オープン・エアー・ミュ

ージアム」

生活のページ

1. 生活科 HP 教材 社会科学科山下先生作成「エネルギー環境教育の学習用教材」
2. 教育心理 HP 教材 教育学科矢野先生作成「ものと人の認識：人の能力や性格の認識」
「ものと人の認識：ころとは何だろうか」

音楽のページ

1. 写真 HP 教材 附属教育実践総合センター浅井先生作成「世界の写真集」
2. 音楽 HP 教材 音楽科田中多佳子先生作成「身近な音具たち」
3. 音楽 HP 教材 音楽科饗場知昭先生作成「ベル・カント発声とオペラ」

図画工作・美術のページ

1. 美術 HP 教材 美術科石川先生作成「鑑賞」のヒントー美術作品と親しむためにー

家庭科のページ

1. 家庭科 HP 教材 家政科榊原先生の HP 「地震に備えて」
2. 家庭科ビデオ教材 「赤ちゃんのいろんな表情」
3. 家庭科ビデオ教材 「そうじの達人」
4. 家庭科ビデオ教材 「健康で快適に住むために～換気～」
5. 家庭科 HP 教材 家政科湯川先生作成「授業で簡単に作れるお菓子レシピ」
6. 家庭科 HP 教材 家政科榊原先生の HP 「わたしたちのくらしと環境問題」
7. 家庭科プレゼンテーション教材 家政科井上えり子先生作成「おたまじゃくしの雑巾の作り方」

体育・保健体育のページ

1. 保健体育ビデオ教材 ためになる 10 分講座 寺田学長 「筋組織と筋機能の関係」
2. 体育ビデオ&HP 教材 体育学科井谷先生 HP 「コンビネーションなわとび」
3. 体育ビデオ教材 体育学科榎本先生作成「バトミントン基礎技術」
4. 体育 HP 教材 体育学科井谷恵子先生 HP 「フィットネス教育を考える」
5. 体育ビデオ教材 体育学科榎本靖士先生作成「バレーボール 3 ステップ」

学内限定

保健体育ビデオ教材 ためになる 10 分講座 寺田学長 「筋運動のふしぎな役割」

外国語のページ

1. 小学校英語プレゼンテーション教材 「英語で遊ぼう！」
2. 小学校英語プレゼンテーション教材

学内限定

小学校英語プレゼンテーション教材 「英語で遊ぼう！」（音楽付き）

総合的な学習の時間のページ

1. 写真 HP 教材 附属教育実践総合センター浅井先生作成 「世界の写真集」
2. 生活科 HP 教材 社会科学科山下先生作成 「エネルギー環境教育の学習用教材」
3. 写真HP教材 社会科学科山下宏文先生 「森林環境教育の写真教材」

道徳のページ

1. 教育心理 HP 教材 教育学科矢野先生作成 「ものと人の認識：人の能力や性格の認識」
「ものと人の認識：こころとは何だろうか」

特別活動のページ

1. 特別活動 HP 教材 家政科榊原先生の HP 「地震に備えて」

特別支援教育のページ

1. 特別支援教育（体育）HP 教材 附属養護学校幸谷先生作成 「ボールあそびが大好きになる！バスケットゴール」
2. 特別支援教育（体育）HP 教材 附属養護学校幸谷先生作成 「跳ぶのが楽しくなる！カラー袋ハードル」
3. 特別支援教育（美術・作業）HP 教材 附属養護学校木村進哉先生作成 「学校現場で安全にできるやきものづくり」
4. 特別支援教育（遊びの指導）HP 教材 附属特別支援学校春原克彦先生作成 「2×4材を使った遊具づくり」
5. 特別支援教育（美術・作業）HP 教材 附属特別支援学校木下幹雄先生作成 「素焼き粘土作品の壁掛け」

これまでのアクセス数 (H18.11～H19.2)

平成 18 年 11 月の運用開始以来現在までのアクセス状況です。HP に設けた解析システムで閲覧状況を把握しています。学内より 6677 件、学外より 12455 件、およそ 20000 件のアクセスがありました。

(1) 月別アクセス数

年/月	件数	割合(%)	グラフ
2006/11	4502	23.53	
2006/12	6242	32.62	
2007/01	5398	28.21	
2007/02	2990	15.62	
合計	19132	100%	

(2) 主な閲覧者ドメイン

No	ドメイン	件数	割合(%)	グラフ
1	*.ne.jp	5245	36.52	
2	*.ac.jp	3505	24.40	
3	*.net	2007	13.97	
4	*.ad.jp	1157	8.05	
5	*.com	707	4.92	
6	*.or.jp	643	4.47	
7	*.co.jp	340	2.36	
8	*.ed.jp	159	1.10	

(3) アクセスの多かったページ

No.	アクセス ページ	平均滞在 時間(秒)	件数	割合(%)	グラフ
1	index_html	---	2672	13.96	
2	contents_htm	---	2660	13.90	
3	asai-main_html	---	867	4.53	
4	asai-menu_html	---	665	3.47	
5	asai-head_html	---	646	3.37	
6	rika_htm	---	591	3.08	
7	kokugo_htm	---	487	2.54	
8	gaiyou_html	---	463	2.42	
9	matsura-antlion2_htm	---	426	2.22	
10	shakai_htm	---	416	2.17	

表紙

授業のたね

浅井先生のページ

理科のページ

国語のページ

教育支援ネットワー

クとは

松良先生のページ

社会のページ

先生相談窓口「スクール110番」

～日頃の先生のお悩みご相談下さい～

ホームページから教育現場からのさまざまな質問や相談を受け付け、電子メール、公開HP、動画通信により本学担当教員から直接回答する システムです。



先生のお悩み、
聞かせてください。

先生相談窓口
スクール
110番

質問フォーム

何でも相談公開お答え

TV会議でお答えシステム(事前登録が必要です)

質問シート 以下のシートに記入していただき、質問を投稿します。

先生のお悩み、聞かせてください。



ご利用いただける方は現在学校で児童・生徒を直接教えている先生に限ります。

保護者、生徒の方からのご質問は受け付けておりません。

また心理相談につきましては本学教育実践総合センターの教育相談窓口で受け付けております。

[何でも相談公開お答えのページ](#)には皆様から寄せられたよくあるご質問と回答を掲載しています。重複のないよう、一度こちらもご確認ください。

ご相談いただく方の最小限の情報を入力していただいております。記入がない場合はご相談を受け付けることができません。ご理解ください。

1. あなたのお勤めされている学校についてお答えください。

- 1) ☐ 小学校 ☐ 中学校
2) ☐ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立
3) 所在地をお選びください

2. あなたの情報をお答えください

- 1) お名前
2) 性別 ☐ 男 ☐ 女
3) 年齢 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60以上
4) 教師経験年数
5) 連絡できる電子メールアドレスをお書きください

ご相談内容を以下に添って入力してください

3. ご相談の内容区分をお選びください(いずれかにチェックしてください)

☐ 教科内容に関すること(授業方法も含みます)

- | | | | | |
|------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| ☐ 国語 | ☐ 社会 | ☐ 算数・数学 | ☐ 理科 | ☐ 生活 |
| ☐ 音楽 | ☐ 図画工作・美術 | ☐ 家庭 | ☐ 技術・情報 | ☐ 体育・保健体育 |
| ☐ 外国語 | ☐ 総合的な学習の時間 | ☐ 道徳 | ☐ 特別活動 | ☐ 特別支援教育 |

- ☐ 児童・生徒指導に関すること
☐ 学校経営に関すること
☐ その他

4. お答えを差し上げる際の方法をお選びください。(いずれかにチェックしてください)

- ☐ なんでも相談公開お答えHPに載せてほしい(このページにはあなたの個人情報(は記載されません)
☐ メールで返信してほしい
☐ なんでも相談公開お答えHPに載せても良い
☐ 詳しく電話で話したい

連絡できる電話番号をお書きください

5. ご相談されたい内容をお書きください

公開掲示板 投稿された質問は自動的に回答者（本学担当教員）に送られ、メールで

回答されます。また公開可能なものはここに掲載されます。

先生のお悩み、聞かせてください。



1～1件目／1件 前へ／次へ

[24] date: 2007/01/28 16:21:02 [追加質問]	
勤務先の学校	小学校, 公立, 京都
質問内容の区分	教科内容に関すること ☐ 道徳
質問内容	「先生相談窓口」を開いていただいております。こういう場はありがたく、大変心強いです。よろしくお願い申し上げます。 道徳の時間に「イメージ・マップ」を活用してみようかと思っているのですが、その分析方法について教えていただきたいと思います。よろしくご指導お願いします。
	イメージマップは、学習者のイメージが学習によってどのように変容したかを見たい時に使われます。 例えば、生命教育番組を見てその後の学習を経験した子どもたちがどのように変容したかを見たいときは、番組の視聴前、視聴直後、学習の終了時の3回、「生命」という言葉を中心におき、その言葉から連想した言葉を一重円に書かせ、一重円の言葉から連想したことを二重目の円に書かせます。言葉の数の変化、質の変化を分析します。分析方法は、言葉の数の

TV 会議でお答え さらに TV 会議システムで画面を通した回答や助言をすることができます。（TV 会議は普通のパソコンに WEB カメラとマイクをつけて行います。）

はじめてお使いになる方へ()

このシステムはTV会議システムでネットワーク利用申請は教育支援管理者 (E-mail: kyosht@nifty.com) 当面現職院生を指導される本学教員に限ります。

1) 利用登録が必要です。
教育支援管理者あてにメールで自分の>

注: 本学専任教員からの申請しか受け付け

2) WEBカメラをお渡しします。
利用が認められるとWEBカメラをお渡しします。カメラは大学の資産ですから本学教員の場合はお渡します。管理もお願いします。返却の必要はありません。
指導院生の場合は指導期間(原則1年)の間お貸します。1年ごとに返却をお願いします。

TV 会議の利用例

教育支援ネットワーク設置 WG

総責任者 副学長 丹後弘司

実施責任者 理学科 沖花彰 音楽科 大澤弘之

附属学校関係 附属学校部長 広木正紀

教科教育関係 家政科 榊原典子

実践教育関係 教育実践総合センター 浅井和行

情報技術関係 産業技術科学科 多田知正

事務担当 教務課 佐々木佳継 宇野和樹（～H19.3） 駒井秀直（H19.4～）

教育支援ネットワーク事業への問い合わせ先

京都教育大学教務課 E-mail kyoshien@kyokyo-u.ac.jp

京都教育大学教育支援ネットワーク

<http://kyoushien.kyokyo-u.ac.jp/>

応援します!!
学校の先生

全国の学校現場の
先生方を、
インターネットを
通じて支援する
システムです。

先生の日ごろの悩み
ご相談ください。

スクール110番

HPにより教育現場からの
さまざまな質問や、相談を受け、
電子メール、公開HP、動画通信
により担当教員から
直接回答する支援システムです。

どんどんアクセスして下さい!!

URL: <http://kyoushien.kyokyo-u.ac.jp/>

明日の授業作りの
ヒントにお役立てください!

授業のたね。

各教科に応じた動画を含めた
京都教育大学オリジナル
開発教材をHP上で公開し、
毎日の学校現場で
活用して頂くシステムです。

2008.3 発行